



日本小児看護学会第33回学術集会 テーマセッション2題 発表

令和5年7月15日、日本小児看護学会第33回学術集会にて、「小児医療現場での身体抑制最小化への取り組み」、「小児現場における、安全な療養環境を改めて考える～高柵ベッドからの転落防止に向けて～」というテーマで、発表を行いました。そして、テーマセッションを通じて小児看護に携わる方々と、活発な意見交流をいたしました。

参加者の方々からは、治療に伴う身体抑制や高柵ベッドからの転落について日々悩まれながら取り組まれていることがわかりました。そして、意見交流を通じて、子どもに関わる多くの方々が子どもの権利擁護について問題意識を持って取り組まれていることがわかりました。

○ テーマセッション 話題提供として当院の転落防止の取り組みについて発表の様子



○ テーマセッション 多くの施設の方々が参加し意見交流いたしました



今後とも埼玉県立小児医療センター看護部は、入院中の子ども達の安全と権利擁護のため、身体抑制最小化に取り組むとともに高柵ベッドからの転落予防に取り組んでいきます。

